

ゆったり流れる古都の時間 心ときめく奈良での新生活。

「奈良で働く・暮らすセミナー・相談会」(東京開催)に参加し、東京都から奈良県に移住を決め、現在は奈良県下の病院で調理に関わる仕事に従事。

東京都出身 **進藤 晶子さん**



移住を考えたきっかけと、奈良を選んだ理由、セミナーに参加された感想をお聞かせください。

私は数年前から、女性が一人でも暮らしやすく、年齢を重ねても安心して生活のできる地方都市への移住を、漠然と検討し始めていました。

今年3月、東京有楽町の「ふるさと回帰支援センター」で、移住について各地方の情報を入手し、候補地のひとつである奈良県の移住サポートデスクを紹介していただきました。

5月には奈良県主催の「奈良で働く・暮らすセミナー・相談会」に参加。個別相談会では奈良県での生活や仕事について相談に乗っていただき、具体的な説明を受ける中で、移住地を奈良県に決めました。

引き続き、奈良県奈良しごとiセンターの移住就労相談窓口で、就職や生活設計に関する専門的なアドバイスを受け、2025年9月、奈良県へ移住し、希望する職に就くことができました。奈良県には頼れる知人もいない中、不安なことを相談できる窓口があることはとても心強かったです。

奈良に移住された感想と、現在従事されているお仕事、今後の目標などお聞かせください。

奈良はとても住みやすく、休日には自転車で奈良市内を散策しています。特に朝の奈良公園は素晴らしいです。

仕事においても、新たなやりがいを見つけることができました。現在は、奈良市内の産婦人科で病院食の調理を担当しています。出産後の患者様への労りや、新しい命の誕生を祝うため、日々心を込めて調理をしています。

以前は、高齢者施設で疾患・嚥下機能に合わせた専門的スキルを学びました。「命を繋ぐ食」と「新しい命を育む食」という対照的な経験は、私にとって大きな財産だと感じています。

今後の目標は、健康に注意しながら仕事を続け、プライベートでは、奈良のお寺や観光地を巡りたいと思っています。また、地域活動などを通じて奈良の皆さんと友達になれることを楽しみにしています。

造園の基礎から資格まで、 学んだ技術を実践で活かす。

植木屋の手伝い経験と、自立したいという強い意志で造園技術科へ令和2年度 造園技術科修了生。

植木屋人「庭吉」 **吉川 寛哲さん**



高等技術専門校を受けたきっかけ・動機をお聞かせください。

親戚が植木屋をしており、時々手伝いをしていたこともあって、植木についてある程度の技術は持っていました。

それまで勤めていた職場を退職し、自立したいと思った時、よいタイミングで奈良県立高等技術専門校造園技術科の募集があり、応募しました。当時30代後半でしたが、面接した先生から「やる気に満ち溢れていた」と評価していただきました。

高等技術専門校ではどのようなことを学ばれましたか。また現在の仕事に生かされていることはありますか。

高等技術専門校では、植物学に始まり実践的な造園技術を学びました。また、造園に必要な重機やフォークリフトなど様々な資格も取得することができました。他にも茶道や華道を学び、庭造りに必要な感性やバランス感覚を習得しました。

現在植木屋職人として働いていますが、高等技術専門校で学び、正しい技術や知識が増えたことで、自分が持っていた誤った部分を改めることができましたし、お客様にも的確なアドバイスができるようになったと思っています。

お仕事への思い、今後の目標などをお聞かせください。

近頃は個人のお宅で樹木を植えた庭を持たれることが少なくなってきました。そのため、今後植木の手入れが必要な場所は、神社仏閣や歴史的建造物の庭などが中心となり、これまで以上に植木屋職人の技術の「質」を求められると思います。

これからも技術の質を落とすことなく丁寧な仕事を続け、技術の向上と伝承に努めたいと思っています。



NIWAYOSHI

URL: <https://niwayoshi2021.wixsite.com/home>